

サウジ石油施設への攻撃で原油価格が急騰

～金融市場への影響は復旧までの時間次第～

2019年9月17日

9月14日（現地）にサウジアラビアの石油施設が無人機による攻撃を受け、週明け9月16日のWTI原油先物価格は前週末比+14.7%と急騰しました。また、リスク回避姿勢の高まりから史上最高値圏にあった米国株は売りに押され、NYダウは前週末比▲0.52%と下落しました。

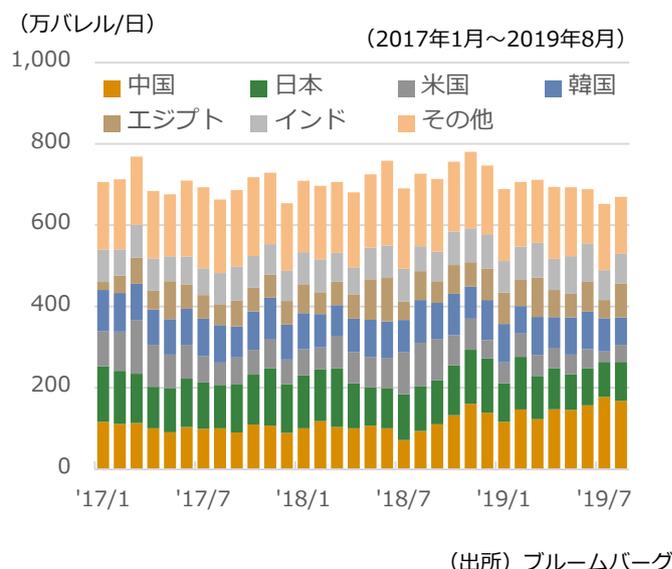
サウジアラビアのアブドルアジズ・エネルギー相によると、同国の産油量が日量570万バレル減少したとのことで、これは同国の産油量の6割弱、世界の産油量の6%弱に相当します。これまでも石油施設が無人機に攻撃される事件は何度も発生しましたが、これほどまでの被害が出たのは初めてです。サウジアラビアは貯蔵所からの供給と予備の生産設備を稼働させることによって輸出の大部分は維持できるとしているほか、米国政府は原油価格安定のためにSPR（戦略石油備蓄）の放出を表明しており、現時点では原油価格が持続的に上昇する可能性は低いと考えています。ただし、サウジアラビアの原油輸出の持続可能性については施設の復旧までにかかる時間に依存する側面が強く、不確実性の高さは残ります。各種報道によると、完全復旧までの期間は数週間から数カ月と情報が錯綜している状況であり、今後の復旧の進捗状況によっては原油価格が振らされる展開も想定されます。

また、今回の石油施設への攻撃に関しては、攻撃元が判然としていません。トランプ米大統領は戦争を望まない旨の発言をしていますが、さらなる攻撃や地域的な紛争に事態が拡大するようだと影響が深刻化する恐れがあるため、注意が必要です。

WTI原油先物価格の推移



サウジアラビアの国別原油輸出量の推移



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。